

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)

【公表番号】特表 2004-533638 (P2004-533638A)  
 【公表日】平成 16 年 11 月 4 日 (2004.11.4)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-043  
 【出願番号】特願 2002-582042 (P2002-582042)  
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 2 B 6/00

【F I】

G 0 2 B 6/00 3 5 6 Z

G 0 2 B 6/00 3 7 6 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成 15 年 12 月 2 日 (2003.12.2)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

光学結晶導波路ファイバプリフォームの製造方法であって、

- a) 光学結晶の第 1 の部分を形成する第 1 の複数のチューブであって、前記第 1 の複数のチューブのうちの第 1 のチューブのグループは前記チューブの円周方向に沿って変化する壁厚さを有して前記チューブの薄壁部分及び厚壁部分を与え、前記第 1 の複数のチューブを束ねて前記チューブの隣接したもの同士の前記薄壁部分を互いに当接させるステップと、
- b) それぞれが実質的に均一な壁厚さを有する第 2 の複数のチューブを前記束のまわりに集めて前記光学結晶の第 2 の部分を形成するステップと、
- c) 前記第 1 の複数のチューブ及び前記第 2 の複数のチューブの壁をエッチングして、当接した前記薄壁部分をエッチングして光学結晶に欠陥を形成するステップと、を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記第 1 の複数のチューブと前記第 2 の複数のチューブは長軸を有し、前記チューブの長軸に対して垂直方向に前記光学結晶を通る断面内において、隣接したチューブの薄壁部分の互いに当接する点を接続したラインが連続しており且つそれ自体で閉じていることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記点を接続したラインが実質的に対称形の幾何学的図形であることを特徴とする請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】

前記第 1 の複数のチューブの前記チューブの前記グループの各々のチューブは、中心を有する外壁面と中心を有する内壁面とによって特徴づけられ、前記外壁面の中心は前記内壁面の中心から離間していることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

前記外壁面及び前記内壁面はそれぞれ円形及び多角形からなるグループから選択されることを特徴とする請求項 4 記載の方法。

